

so that young mothers could bring infants. I was told that person in charge brings a ballot box to the homes of registered disabled persons. At one polling station, staff, observers and voters were gaily dancing. Here are many things to learn from Uzbek style.

Uzbekistan has been under the President Islam Karimov's long-term political power since March 1990. Western countries have often criticized human rights abuses and authoritarian methods of the President. However, after independence ethnic conflict and the domestic power struggle between regions has been avoided.

National unity seems to be progressing. I had the impression that people expecting security and stability of life more than democratization rather accepted the current regime passively. It will be the government's task to enhance the transparency of the politics and to make efforts to let the fruit of the economic growth spread out to the nation.

(アジア・太平洋国会議員連合中央事務局事務
総長 Secretary-General, the Central Secretariat
of Asian-Pacific Parliamentarians' Union)

写真提供：筆者 Photographs by the author

利用案内 Visitor Information

横浜ユーラシア文化館

Yokohama Museum of EurAsian Cultures

〒231-0021 横浜市中区日本大通12
12 Nihon Odori, Nakaku, Yokohama, Japan 231-0021
Tel.045-663-2424 Fax.045-663-2453
<http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>

開館時間 9:30 a.m.~5:00 p.m.
(入館は4:30 p.m.まで)
休館日 毎週月曜日・年末年始ほか
入館料 一般200円
小・中学生100円
企画展開催時には別料金になることが
あります。
毎週土曜日は小・中学生、高校生無料。
「障害者手帳」、横浜市の「濱ともカード」
等をお持ちの方には、入館料の減免制度
がありますのでお尋ねください。

Hours 9:30 a.m.~5:00 p.m.
(Admission until 4:30 p.m.)
Closed Mondays and year-end/
New Year's recess
Admission ¥200 for adults
¥100 for primary and
junior high school students



Map in English → Website

交通アクセス
みなとみらい線日本大通り駅3番出口から徒歩0分
JR関内駅南口・市営地下鉄関内駅1番出口から徒歩約10分
Zero min. walk from Nihon Odori Sta. on the Minato Mirai Line.
10 min. walk from Kannai Sta. on the JR Line or Municipal
Subway.

お知らせ Information

5月21日(金)は、展示替えのため休館します。
Closed on Friday, May 21 for the change of
exhibition.

News from EurAsia No.12

横浜ユーラシア文化館ニュース第12号
企画・編集・発行 横浜ユーラシア文化館 2010年3月15日
デザイン/祐オフィスエルク
印刷製本/ツルミ印刷(株)
禁無断転載
©2010 Yokohama Museum of EurAsian Cultures



News from EurAsia

横浜ユーラシア文化館ニュース

目次 Contents

アートウォッチング p.2

Art Watching

狩猟図

Scenes of Hunting

福原庸子 Yasuko Fukuhara

ギャラリートーク p.4

Gallery Talk

古代メソポタミアの人々の装い

Costume in Ancient Mesopotamia

竹田多麻子 Tamako Takeda

コラム p.6

Column

ウズベキスタンの選挙監視に参加して

Politics and Society of Uzbekistan

廣瀬徹也 Tetsuya Hirose

利用案内 p.8

Visitor Information

横浜ユーラシア文化館
Yokohama Museum of EurAsian Cultures

no. 12

Art Watching

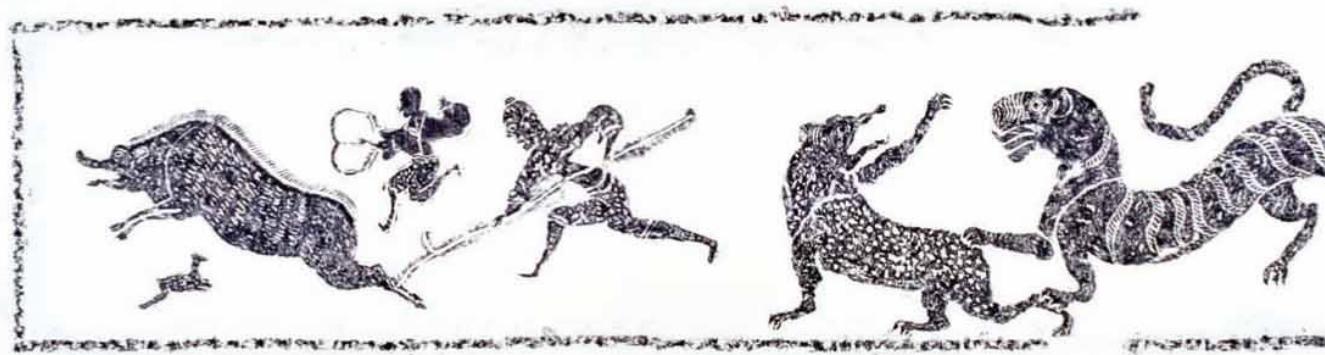
アートウォッチング

狩獵図 (画像石拓本)

Scenes of Hunting (Rubbing from Stone Relief)

中国 河南
後漢 1～3世紀

Henan, China
Later Han dynasty, 1st-3rd century, C.E.



この画像は、約2千年前の中国、後漢時代に刻まれた画像石の拓本です。画像石とは、表面に画像を彫った石材で、地上の祠堂、地下墓室の天井や壁面に用いられました。当時、死者の靈魂はそのまま地下世界で暮らし続けると考えられていたため、画像石には、靈魂を守る神々や動物、そして当時の生活の様子(馬車行列、狩獵、舞楽、宴、厨房)が表されました。

画面右は、トラが鋭い爪でクマに襲いかかる瞬間を捉えています。飛びつくトラとのけぞるクマの配置には、当時から重視されていた陰陽のバランスが見られます。トラやクマは魔除けにもなる瑞獣だと

考えられていました。画面左はイノシシ狩の様子ですが、古代中国の狩獵には特別な意味がありました。前漢末までにまとめられた『春秋左氏伝』には、春夏秋冬の農閑期に狩獵を行うことで武事の訓練をし、捕らえた獲物は先祖に捧げることが昔からの決まりである、と記されています。イノシシの後脚に突き刺された武器の形状は、戈に似ています。長い柄の先端に取り付けた刃を、敵の体に打ち込んで引き倒すような使い方をしました。弓は古代中国のボーガン、弩のように見えます。このように、画像石は古代中国の生活や習慣を鮮やかに映し出す貴重な

資料で、特に動物描写における豊かな想像力と表現力は、漢代美術の特徴です。

(福原庸子)



Much of our knowledge on Han-dynasty life and art is derived from subterranean tomb chambers where stone slabs with engraved designs embellished the walls and ceilings. This rubbing was taken from an example of such stone relief.

The right half depicts a giant tiger leaping on the back of a bear. The forward and backward postures of the two beasts is in accordance with the basic scheme of *yin-yang*, which was very important to the people of Han. Thematically, the tiger and the bear were both regarded as sacred animals endowed with the power to ward off evil spirits. The left half shows two men chasing a huge boar with a cross-bow and a halberd. In ancient China, hunting was carried out each season as an important military training, and the game was customarily presented to the offering shrine to please the ancestral

spirit.

The rendition of animals charged with lithe energy is typical of Han art. The designer skillfully represented each creature's uniqueness in physical features and movements. (Yasuko Fukuhara)

企画展情報 Special Exhibition

遊牧世界の造形

—人と暮らす動物たち—

Designs of Domestic Animals and Nomadic Life

2010年5月22日(土)～9月5日(日)

Sat., May 22 to Sun., Sept. 5, 2010

入館料 Admission 一般 Adult ¥500、
小・中学生 Primary and Junior High School
Student ¥250

草原の五畜(ウマ、ウシ、ラクダ、ヤギ、ヒツジ)がテーマです。モンゴル高原をはじめ、ユーラシア各地で作られた、五畜の表わされた土器や青銅器、民族資料などを展示し、遊牧生活を支えた五畜たちと人々の生活をご紹介します。

www.eurasia.city.yokohama.jp/

Gallery Talk ギャラリートーク

古代メソポタミアの人々の装い

Costume in Ancient Mesopotamia

竹田多麻子 Tamako Takeda



男性 祈念者像

Stone Statue of
Male Worshiper

南イラク
シュメール初期王朝時代3期
紀元前第3千年紀中頃
残存高16.0 cm、幅10.0 cm
奥行11.0 cm

Southern Iraq
Mid-3rd millennium B.C.E.
H. 16.0 cm, W. 10.0 cm, D. 11.0 cm



今から5000年前、人々はどのような格好をしていたのでしょうか？

実際に身に着けた衣類が残っているわけではないので、私たちは今に伝わるさまざまな資料からたどるしかありません。

この男性像は、礼拝者が常に神様に祈りを捧げられるように、自分の代理として神殿に置かれたもので、現在は髪が剃られた頭部が欠けています。上半身が裸、下半身はズボンではなくカウナクスというスカート状の衣装を身につけています。このカウナクスは、羊の毛皮、または毛皮に見えるように布地に羊毛の総を段状に結びつけた織物で作られたと考えられています。鳥の羽根のような形をした総から、羊毛のふわふわとした感触が伝わり、当時の衣装は羊毛を贅沢に使った、豪華なものだったでしょう。この像が製作されたメソポタミア（現在の南イラク）では羊が飼育されていたので、羊毛が衣服の主な素材になっていました。

現存する資料の少ないメソポタミアで、この祈念者像は、まさに当時の装いを知ることができる資料のひとつです。

This statue from approximately five thousand years ago is a precious legacy of ancient Mesopotamia (modern southern Iraq). It is a Sumerian male figure wearing kaunakes (Greek meaning "thick cloak"), typically seen in examples

(with a tonsured head) dating from the third early dynastic period, mid-3rd millennium B.C.E.

Each Sumerian city-state had its own deity worshiped in a temple, the central structure of the walled city. Votive statues like this one were placed in the temple so that they could constantly be offering prayers on behalf of the donors they represented.

Sumerians raised sheep, and they used wool as the main material for clothes. The kaunakes was made from sheepskin or cloth simulating animal fleece. The woolly surface texture of the garment is well modeled in the present piece.

(English abstract by Yasuko Fukuhara)

イベント情報 Event

ミュージアムで遊ぼう！ Part 7

[クイズラリー]

今日から君は名探偵！

ユーラシアのファッションを探そう！編

2010年2月2日(火)～5月20日(木)

場 所 横浜ユーラシア文化館2階

常設展示室

参加費 入館料のみ

名探偵コワン



名探偵犬コワンと一緒にクイズを解きながら、ユーラシアの古代から現代までのファッションを展示室で見よう！クイズを解き終わったら、もう君は名探偵！参加者には当館オリジナル絵ハガキをプレゼント。

www.eurasia.city.yokohama.jp/

ウズベキスタンの選挙監視に参加して

Politics and Society of Uzbekistan

廣瀬徹也 Tetsuya Hirose

筆者はウズベキスタン共和国中央選挙管理委員会の招待で、2009年12月27日に行われた立法院（下院）と地方議会同時選挙の国際監視に参加した。

下院は定数150名、うち15議席が環境保護団体「ウズベキスタン環境運動」に割り当てられており、残り135の小選挙区で公認の4つの政党が争うが、そもそも大統領と対立する団体は政党として認知されていない。各党候補者の30%以上は女性でなければならない。個人では立候補できない。中央選挙管によれば、国際選挙監視には、独立国家共同体、上海協力機構、イスラーム諸国会議機構、欧州安全保障・協力機構のほか、日本（16名）を含む36か国から300名以上が参加したが、監視は、団体として行うのではなく、一人ひとり、車が提供され、接伴員と通訳が同行する。筆者の通訳は外国語大学大学院英語科の女子学生で、ボランティアの由、名誉なことなのだという。

筆者の割り当ては首都タシケント市



投票所の係員たちと。左から4人目が筆者。
With staffs of the polls. The fourth from left is author.

内の第129選挙区。選挙前日地区選管を訪れてブリーフを受け、27日選挙当日は投票所8か所（うち6か所が初等・中等教育の学校）で監視を行った。有権者数は1か所900から2,500人。見た限り出足はよく、投票者は事前に届いた投票者証とパスポートを選管係員に提示して用紙2枚（下院選用と地方議会選用）を受け取り、カーテンで仕切られたブースで書き、折りたたんで正面が透明の投票箱に入れる。各党代表も並んで監視している。ソ連時代の影響で、女性の社会進出が著しいが、係員、監視員とも女性が多い。ある投票場では係員、監視人、投票に来た人が一緒にわいわい踊っていた。

暫時観察の後、投票所の責任者（その学校の校長であるケースも多い）の部屋で、お茶など供されつつ、質疑応答を行い、最後に記帳簿に感想を書いて退出するのを繰り返した。現場で見る限り、ウズベク人の緻密さを反映して概ねよく組織されていた。外国人監視員達と意見を交換したが、彼らも民主化の本質の問題は別として、投票自体は全く問題ないと思ったと話していた。集票で不正があったとの情報はなかった。

各投票所には医者と看護婦が待機しており、若い母親が乳幼児を連れて来られるようベビーベッド・絵本・玩具などを備えた保育室が設けられている。身体障害者には係員が投票箱を自宅に持参して投票させるそうだ。

政府は、未来を見据えて教育にも力

を入れている。教育制度がかなり充実している旧ソ連諸国の中でもウズベキスタンは唯一12年を義務教育としている。日本の高校にあたるリセは大学進学コースと職業教育コースに分かれているが、投票所となったある職業教育のリセでは在校生の優れた作品の展示に1室があてられていた。

後日発表された選挙結果では、投票率87.8%、親大統領の企業家・実業家運動・自由民主党が53議席、旧共産党の流れを汲み野党と位置付けられる人民民主党が32議席、国民復興民主党31議席、公正社会民主党19議席、ウズベキスタン環境運動15議席となった。33名が女性である。

タシケントでは昨年8月にもイスラーム過激派と思われる武装グループと警察との銃撃戦が発生した。しかし、天然ガス等資源輸出拡大に支えられて高いGDP成長率（2004年以降7～9%台）が続く、人々は懐が潤ったのか、スーパーや青空市場は正月用品を求める買い物客でごった返し、レストランは家族連れで賑わっていた。大広場のステージでは歌や踊りの催しがあり、サンタクロースの衣装の人たちがサーヴィスで子供たちとの写真を撮らせていた。国民の9割以上がムスリムでありながら、サンタクロースは日本と同様人気があるようだ。

まだソ連時代の1990年3月から現在までカリモフ大統領の長期政権が続く。欧米諸国は大統領の強権的政治手法と人権侵害をしばしば批判してきた。米国のNGOフリーダムハウスの自由度調査では、ウズベキスタンは自由度が最も低い国の一つと位置付けられ



投票所には医者と看護婦が待機し、保育室もある。
A nursery room in the polls.

ている。しかし、独立後は民族間の衝突や国内の地域間勢力争いも避けられており、国民の統合は進んでいるようだ。過激派の抑圧もある程度成果を上げている。民主化よりも安全と生活の安定を望む民衆はむしろ強権政治を受動的に容認してきたのではないかという印象を受けた。政府は、死刑を廃止し、民主化とマスメディアの自由化を目指す立法を行うなど社会改革を徐々にではあるが進めている。今後、政治の透明性を高め、経済成長の成果を国民に等しく行き渡らせるよう努力することが課題であろう。

I participated in the international observation of the election last year-end. Generally everything was well organized reflecting elaborateness of the Uzbeks.

Under the influence of the Soviet Union times, women's participation in society is remarkable in Uzbekistan. I met many women working as election staff or domestic observers.

At each polling station a doctor and a nurse stood by. A childcare room with a crib, toys and picture books was prepared